

ワシントン州フュージョンセンターが偶発的に遠隔マインドコントロールに関する記録を流出させる？

Washington State Fusion Center accidentally releases records on remote mind control?

出典：MUCKROCK <https://www.muckrock.com/news/archives/2018/apr/18/fusion-center-em/> April 18, 2018

As part of a request for records on Antifa and white supremacist groups, WSFC inadvertently bundles in “EM effects on human body.zip”

WSFC（ワシントン州フュージョンセンター）が不注意で、反ファシズム主義団体や白人至上主義団体に関する記録の一部を、「EM effects on human body.zip（人体に対するEM（電磁気）の効果についてのファイル）」の中に一まとめにする。

Written by [Curtis Waltman](#) Edited by [JPat Brown](#) クリス・ウォルトン著 J・パット・ブラウン編

When you send thousands of FOIA requests, you are bound to get some very weird responses from time to time. Recently, we here at MuckRock had one of our most bizarre gets yet - Washington State Fusion Center’s accidental release of records on the effects of remote mind control.

あまりにも多くの情報公開請求をすると、時としてとても奇妙な回答を受け取らなければならない。我々は最近、今までで最も奇妙な入手物の一つを、ここ MuckRock で手にした。それは、ワシントン州フュージョンセンターが偶発的に流出させた、遠隔マインドコントロールの効果に関する記録である。

As part of my ongoing project looking at fusion centers’ [investigations into Antifa and various white supremacist groups](#), I filed [a request with the WSFC](#). I got back many standard documents in response, including emails, intelligence briefings and bulletins, reposts from other fusion centers - and then there was one file titled [“EM effects on human body.zip.”](#)

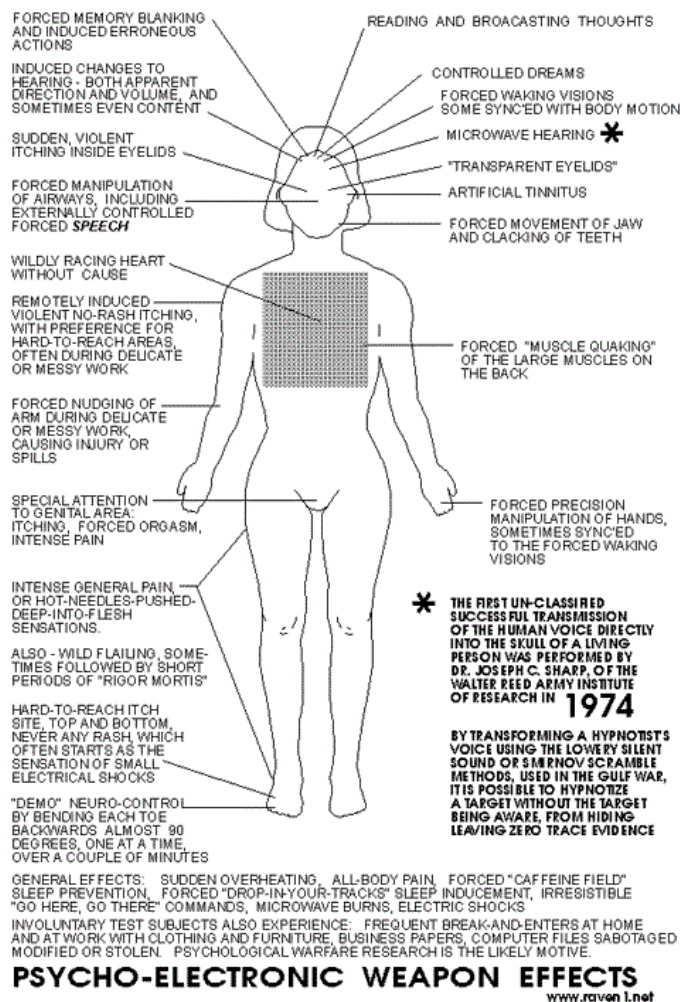
フュージョンセンターが行う反ファシズム主義団体や様々な白人至上主義団体に対する調査を検討するという、継続中のプロジェクトの一環として、私は WSFC（ワシントン州フュージョンセンター）に請求を申請した。私は、回答に多くの基本文書を受け取った。それ

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

には、電子メール、intelligence briefing インテリジェンス・ブリーフィング（情報機関からの報告）、intelligence bulletin 情報公報、他のフュージョンセンターからの引用が含まれていた。そしてそこには、「EM effects on human body.zip（人体に対するEM（電磁気）の効果についてのファイル）」と題された一つのファイルが存在した。

Hmmm. What could that be? What does EM stand for and what is it doing to the human body? So I opened it up and took a look:

さて、それは何なのでしょう。EM とは何を表わしているのか、そして人体に対して何をするものなのでしょう。それで私は、そのファイルを開けて調べてみた。



(P. 3 訳文はじめ)

(人体図左側上から)

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

- ①記憶消去の強制と誤った行動の誘発。
- ②聴覚力の変化の誘発。見かけの方向や音量の両方とも、時として内容まで変化。
- ③突発的で強烈な瞼の内側のかゆみ。
- ④気道操作の強制。外部から制御された強制的な発言を含む。
- ⑤理由もなく激しく高鳴る心臓。
- ⑥発疹の出ない強烈なかゆみを遠隔から誘発。手の届きにくい箇所が選ばれ、たいてい細かな仕事か面倒な仕事の最中。
- ⑦細かな仕事か面倒な仕事の最中に、強制的に腕を突つく。怪我や流血を引き起こす。
- ⑧生殖器に特別な注意を向けさせる。かゆみ、強制的な性的絶頂感、激しい痛み。
- ⑨激しい全身痛、もしくは皮膚の深いところまで熱い針で刺される感覚。
- ⑩激しくもがく。時として、その後「死後硬直」が短時間続く。
- ⑪手の届きにくいところにかゆみ。足の甲や足裏に、発疹が全く出ず、たいていわずかな電気刺激の感覚として始まる。
- ⑫足指一本一本を逆向きに90度近く曲げる、「デモ（実演）」神経制御。一度に一本ずつ、二分以上。

（人体図右側上から）

- ①思考を読み取り、送信。
- ②夢の操作。
- ③覚醒中の映像を強制。身体の動きに同調させることもある。
- ④マイクロ波を聴く。 *（下記に説明文）
- ⑤「トランスペアレント（透過的）な瞼」。
- ⑥人工耳鳴り。

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

⑦顎を動かし歯ぎしりを強制。

⑧広背筋の「筋肉振動」を強制。

⑨強制的に手を巧みに操作する。時として、強制的な覚醒映像に同調させる。

* (④の説明)

初の機密扱いされていない、活動中の人間の頭蓋に直接人の声を送信することの成功は、ウォルター・リード陸軍研究所のジョゼフ・C・シャープ博士による1974年の研究において成し遂げられた。

スミルノフのスクランブル法において、ロワリー超音波を利用した催眠術師の声を変換することによる。湾岸戦争で使われた。隠れたところから、証拠を残さずに、気付かれずに、標的に催眠をかけることが可能である。

(図の下部)

一般的効果： 突発性加熱、全身の痛み、「CAFFEIN FIELD カフェインフィールド」による睡眠妨害の強制、「DROP-IN-YOUR-TRACKS」による睡眠誘発の強制、「ここに行け、そこに行け」の衝動的な要求、マイクロ波やけど、電気ショック

同意のない被験者も同様に体験すること： 自宅や職場に常習的に不法侵入される。衣類、家具、業務書類、コンピューターファイルが破壊され、修正され、盗まれる。恐らく、心理戦争の研究が動機である。

精神 - 電子兵器の効果 www.raven1.net

(P.3 訳文終わり)

Hell yeah, dude.

これはすごい

EM stands for electromagnetic. What you are looking at here is “psycho-electronic” weapons that purportedly use electromagnetism to do a wide variety

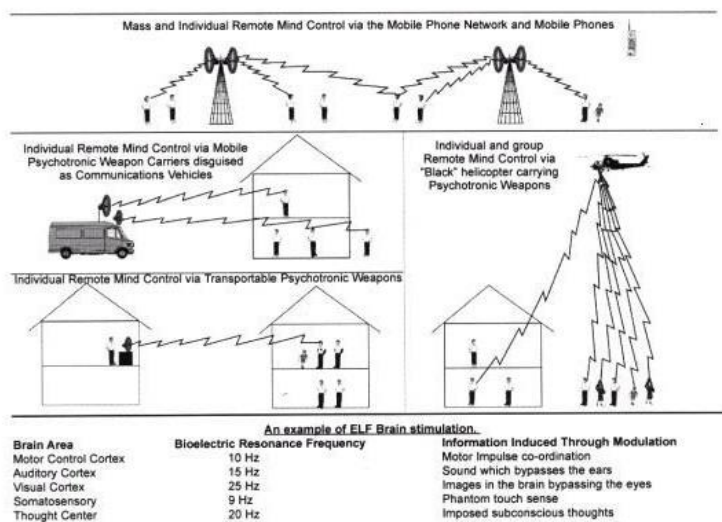
第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

of horrible things to people, such as reading or writing your mind, causing intense pain, “rigor mortis,” or most heinous of all, itching.

EMは、electromagnetic（電磁気の）を表わしている。ここであなたが目にしているものは「精神 - 電子」兵器というもので、うわさによれば電磁気力を使い、例えば、人の心を読んだり、心に書き込んだり、強烈な痛みを引き起こしたり、「死後硬直」を引き起こしたり、何よりも凶悪なことを引き起こしたり、かゆみを引き起こすといったような、多種多様な恐ろしいことを人間に対して行うものである。

Now to be clear, the presence of these records (which were not created by the fusion center, and are not government documents) should not be seen as evidence that DHS possesses these devices, or even that such devices actually exist. Which is kind of unfortunate because “microwave hearing” is a pretty cool line of technobabble to say out loud.

今のところ、この記録（フュージョンセンターが作成したものではなく、政府文書でもない）の存在が、DHS（アメリカ国土安全保障省）がこのような機器を保有している証拠になるとはみなされないだろう。しかし、このような機器は実際に存在すると思われる。いずれにせよ、嘆かわしいことである。声を大にして言えば、「マイクロ波を聴く」というのはテクノバブルにおいてかなり突出した路線なのだから。



Remote Mind Control / Remote Brain Mapping

(P. 7 訳文はじめ)

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

(上段) 携帯電話回線と携帯電話を利用した、遠隔からの集団・個人マインドコントロール

(左中段) コミュニケーション媒体に偽装している移動式的精神工学兵器運搬装置を用いた、遠隔からの個人マインドコントロール

(左下段) 移動可能な精神工学兵器を用いた、遠隔からの個人マインドコントロール

(右中下段) 精神工学兵器を搭載した「ブラック (秘密作戦)」ヘリコプターを用いた、遠隔からの個人・集団マインドコントロール

ELF (超低周波) 脳刺激の用例

(脳部位)	(生体電気共鳴周波数)	(変調を介して生じる情報)
・運動制御皮質	10 ヘルツ	運動インパルス調整
・聴覚皮質	15 ヘルツ	聴覚を回避する音
・視覚皮質	25 ヘルツ	視覚を回避する脳内の映像
・体性感覚	9 ヘルツ	幻触覚
・思考中枢	20 ヘルツ	強制された潜在意識的思考

遠隔マインドコントロール/遠隔脳機能解析

(P.7 訳文終わり)

You know what's even cooler? "Remote Brain Mapping." It is insanely cool to say. Go ahead. Say it. Remote. Brain. Mapping.

何が突出しているって。「遠隔脳機能解析」って、正気とは思えないほど突出している。さあ、言ってみよう。遠隔、脳機能、解析。

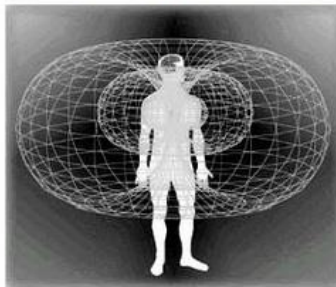
Just check the detail on these slides too. The black helicopter shooting off its psychotronic weapons, mapping your brain, broadcasting your thoughts back to some fusion center. I wish their example of "ELF Brain stimulation" was a little clearer though.

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

このスライド写真も詳しく見てみましょう。ブラック（秘密作戦）ヘリコプターが精神工学兵器を発射し、人の脳機能を解析、その人の思考をある特定のフュージョンセンターに送信する。「ELF（超低周波）脳刺激」の見せしめが、もう少しわかりやすければいいんだけどね。

Spectrum: Emission or wave propagation (Electronic Signal). To make communication, to identify any object emitting frequency. Human body emit very Low electronic signal as temperature/heat (Brain Wave - Delta, Theta, Alpha, Beta, Gamma etc).

- Bio_Electromagnetic Field which is unique for every human body.
This is Electronic signal frequency ID of each object.
Radar Electronic signal detect the object(Human Body) for modulation human brain wave.



Bio_Electromagnetic

Human Brain Wave:

Delta is the frequency range up to 4 Hz.
Theta is the frequency range from 4 Hz to 7 Hz.
Alpha is the frequency range from 8 Hz to 12 Hz.
Beta is the frequency range from 12 Hz to about 30 Hz.
Gamma is the frequency range approximately 30-100 Hz.
Mu ranges 8-13 Hz.

Supratik Saha
(Software And Electronics & Comm. Engg.)

(P. 9 の訳文はじめ)

スペクトル :

放射もしくは、波動伝搬（電子信号）。伝達する目的、周波数を発する対象物を識別する目的。人体は、微弱な電子信号を体温/熱として放出している。（脳波—デルタ波、シータ波、アルファ波、ベータ波、ガンマ波など）

人体ごとに固有の生体電磁場。これが、個々の対象物の電子信号周波数 ID となる。電子信号レーダーが、脳波の変調を感知する為に対象物（人体）を検波する。

(図) 生体電磁気

人間の脳波 :

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

デルタ波は、4 ヘルツまでの周波数帯域。

シータ波は、4 ヘルツから 7 ヘルツまでの周波数帯域。

アルファ波は、8 ヘルツから 12 ヘルツまでの周波数帯域。

ベータ波は、12 ヘルツから約 30 ヘルツまでの周波数帯域。

ガンマ波は、ほぼ 30-100 ヘルツの周波数帯域。

ミュー波は、8-13 ヘルツに及ぶ。

(P.9 の訳文終わり)

It's difficult to source exactly where these images come from, but it's obviously not government material. One seems to come from a person named "Supratik Saha," who is identified as a software engineer, the brain mapping slide has no sourcing, and the image of the body being assaulted by psychotronic weapons is sourced from raven1.net, who apparently didn't renew their domain.

これらの画像の出どころを明らかにするのは難しい。しかしながら、政府文書ではないことは明らかだ。一つ (P.9) は、ソフトウェアエンジニアだとされる「Supratik Saha」という名の人物が出どころらしい。脳機能解析のスライド写真 (P.7) は、出どころ不明。精神工学兵器に攻撃されている人体画像 (P.3) は、raven1.net が出どころで、そのドメインは見たところ更新されていないようだった。

It's entirely unclear how this ended up in this release. It could have been meant for another release, it could have been gathered for an upcoming WSFC report, or it could even be from the personal files of an intelligence officer that somehow got mixed up in the release. A call to the WSFC went unreturned as of press time, so until we hear back, their presence remains a mystery.

この流出がどのように落ち着くのか、全くわからない。更なる流出が起きた可能性もある。WSFC (ワシントン州フュージョンセンター) の次回報告書の為に集められた可能性もある。どういうわけか頭が混乱した情報部員の個人ファイルからの流出であった可能性さえある。この報道の時から、WSFC に電話しても返事がない。そのため、返事をもらうまでは、それらのことは謎のままである。

第203回 NPO テクノロジー犯罪被害ネットワーク定例会資料

We' ll keep you updated once we hear back, and you can download the files yourself on [the request page](#).

返事をもらった時点で、最新の情報をお伝えするつもりです。そうなれば、リクエストページ上でご自由にファイルをダウンロードすることができます。